



事業承継に取り組んだ事業者さんの声

株大丸工務店

(総合建設業・福島市)

代表取締役

大和田

知昭さん

「経営者」

事業承継を早めに準備したのは、

先代の私の父が60歳代で急死し、私自身がいろいろと苦勞したから。地域の建設業として、後継者である

息子にうまくバトンタッチし、今まで

でお世話になったお客さまの力になることが会社の使命だと考えています。息子の若い発想と行動力に期待しています。



代表取締役の大和田知昭さん(左)と常務の真生さん

常務取締役

大和田

真生さん

「後継者」

社長から教えてもらった仕事のやり方や、この地域での今までの流れを踏まえて、図面のデータ化に取り組みました。初期投資はかかりましたが、タブレット端末で現場の状況をみんなで共有でき

るようになり、結果的に残業代の大幅な削減につながりました。もう一人の常務である弟と協力してネットワークを広げながら、時代のニーズに即したやり方を取り入れていきたいです。



アサヒ電子株

(電子機器の開発・設計、製造、修理業 伊達市)

代表取締役社長

菅野

寿夫さん

昨年亡くなった先代の父と私との間で、10年くらいかけて事業承継を行いました。きっかけは、父

が、銀行から事業承継の検討を勧められたこと。父は、株の移動をしたり、事業のやり方を私に教えたり、お客さまを私に紹介したりと、時間をかけて少しずつ取り組んでくれました。おかげで、混乱することなく事業を継続することができました。会社を継続し、従業員を守るのが経営者のやるべきことの一つだと思います。

私は、従業員が、自分の子どもをここで働かせたいと思えるような会社にしたい。そのため、スムーズな事業承継は必要で、早めに準備することが大切だと思います。

私は、従業員が、自分の子どもをここで働かせたいと思えるような会社にしたい。そのため、スムーズな事業承継は必要で、早めに準備することが大切だと思います。

